

小中一貫校南アルプス市立甲西中学校だより



克己自問

【学校教育目標】豊かな心を持つ生徒、自ら学ぶ生徒、たくましい体を持つ生徒



2025・3・24発行

発行者：校長 今津 義弘

「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」

卒業式が終わりました。校長室の窓から外を見ると、3年生の門出の日だからと我慢していた空から、午後になると雨が降り始め、寂しさが一層増してきます。3月は待ちわびた春の訪れを喜ぶ季節ですが、学校では年度末になり、終わりと別れが増え、寂しさが漂う季節でもあります。

3月12日(水)第68回卒業証書授与式が挙行されました。ご来賓、ご家族、在校生、先生方、たくさんの人の心が込められた中、107名の卒業生が、中学校3年間、小学校からの義務教育9年間で学んだことを、式に臨む立派な姿で表現してくれました。特に証書授与での担任の先生からの呼名に、緊張しながらも堂々と返事をする姿、卒業記念行事での合唱や語りは、1,2年生や私たち教師も勇気をもらうことができました。これまでいろいろな場面で、子どもたちを支え、応援していただいた家族や地域の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

立派な姿で卒業式を終えた3年生を見ると、好きな俳句「春風や 闘志いだきて 丘に立つ」(才能あり・私ではなく高浜虚子です)が思い出されます。息を切らしながら駆け上り、丘の上に立つ。広がる景色に未来を思う。その時に感じる春の風。ふっふつと身体の内側から湧き起こる気持ち「闘志」。丘の上から「闘志」をもって未来に立ち向かう107人の卒業生の姿が私には見えます！卒業生一人一人の新しいステージでのチャレンジを心から応援しています。



令和6年度 最終 学校の様子

(修学旅行事前学習～被爆体験伝承講和～)

2月25日(火)2年生が修学旅行へ向けて「被爆体験伝承者」の野田信枝さんに来ていただき、学習会を行いました。野田さんはご両親とご祖母が戦争当時広島で被爆を体験していることがきっかけで、「被爆体験伝承者」として原子爆弾、戦争の恐ろしさを伝える活動をしています。映像や資料等を使い、一生懸命に思いを込め伝える姿に、2年生も集中して真剣な眼差しで話を聞いていました。日本では戦争が遠い過去の出来事のように思えますが、今も世界各地では戦争が起こっています。是非この講和で学んだことを広島への修学旅行につなげ、平和を守っていけるように頑張っていきましょう。



(健闘! 県新人駅伝大会)

3月9日(日) 県新人駅伝大会が榊形総合公園特設コースで開催されました。甲西中からは各部門に計5チームが出場し、それぞれのチーム、選手がベストの走りを見せてくれました。特に学校対抗部門に出場した男子チームは総合3位という素晴らしい成績でした。代表選手6人は陸上部 野球部 バスケット部 トラベツソ(サッカー) それぞれ所属は違いますが、チーム甲西、力を合わせ頑張った結果です。来年度は男女アベック関東大会出場をめざして、これからも甲西プライドを胸に頑張っていきましょう!



(結果) ○男子学校対抗部門 3位・甲西中男子駅伝部

《 1区 古屋佑樹(区間賞) 2区 伊藤優太 3区 秋山航輔(区間賞) 4区 竹田悠真
5区 深澤成介 6区 秋山来夢 》 15位・甲西クラブ選抜 21位・甲西中陸上部

○男子部対抗部門 6位・野球部 ○女子学校対抗部門 19位・甲西中陸上部

(3年生を激励する会・伝統の応援を引き継ぐ)

3月11日(火) 卒業式の前日に、今まで甲西中を引っ張ってきてくれた3年生に感謝と激励の気持ちを伝える会「3年生を激励する会」が開かれました。3年生へ生徒会役員からの感謝の言葉と、2年生によるエール・応援が送られました。3年生が入らない初めての応援でしたが、一生懸命な気持ちがよく伝わりました。すると3年生から下級生に応援が返されました。やはり3年生は迫力があり「甲西中学校を頼んだぞ!」という思いが託された、伝統の応援と思いが引き継がれました。

(体育に文化に頑張っています!)

○女子バレーボール部・県ジュニアバレーボール大会 3位 弦間杯 優勝

○卓球部・関東中学校選抜卓球大会出場

○南関東中学校陸上競技大会 男子走高跳 3位 1m78cm ソト テンシ

男子共通800m 2:00.31(県1年新記録) 5位 古屋佑樹

○教育祭県かきぞめ大会(特選)・三枝美月 井上七海 山本暖笑 有泉咲来
野中琴羽 石川凜佳 深沢果莉菜 浅川怜史 渋谷優羽

○りんり俳句大賞(年間優秀句)・長田悠佑「夏休み 一行日記は 晴ればかり」
(才能あり!)

○社会を明るくする運動県作文コンテスト(優秀賞)・佐野楓歩

(3年間分のありがとう!)

毎朝学校の北側で交通指導をしていただいている河口さんから「卒業の日、3年生の生徒が横断歩道を渡り『おはようございます』とあいさつした後、わざわざ止まって振り返り『ありがとうございました。』と言ってくれました。とてもうれしかったです」という話を教えていただき、聞いた私も心が温くなりました。

きっと毎日見守ってくれている河口さんへの3年間分の感謝の気持ちを込めたお礼の言葉だったのでしょ。感謝の気持ちを持ち、それを相手に伝えることは本当に大切なことですね。



今号で令和6年度の学校だよりは終わります。1年間ありがとうございました。引き続き甲西中学校へのご支援、ご協力をお願いいたします。
令和6年度 甲西中学校教職員一同